

県産酒を飲み比べ! 県観光情報センターの新たな魅力

県観光情報センターリニューアル(令和6年4月1日 山形市)

山形駅西口の霞城セントラル1階にある県観光情報センターがリニューアルしました。従来の観光情報コーナーに加え、県産の日本酒30銘柄とワイン12銘柄を揃えた有料試飲コーナーを新設し、ワンコイン(500円)で3銘柄の飲み比べができます。また、酒蔵やワイナリーの担当者が銘柄の魅力やこだわりを紹介するイベント「飲みmonth(マンス)」も定期的で開催されます。県では、県観光情報センターの魅力を高め、観光客の県内周遊につなげていきます。



山形ワイヴァンズ、プレーオフで躍動!

山形ワイヴァンズ vs ライジングゼファー福岡(令和6年5月5日 福岡県)

プロバスケットボール男子・Bリーグ2部のプレーオフが開催されました。3シーズンぶり2度目の進出となった山形ワイヴァンズは、準々決勝でライジングゼファー福岡と対戦。初戦で黒星を喫したものの、第2戦では、接戦の末、プレーオフでの初勝利を飾りました。続く第3戦も逆転で勝利を収め、チーム初となる準決勝進出を果たしました。最終的には、過去最高の4位という好成績で、節目となる10年目のシーズンを締めくくりました。



© Passlab Inc.

こんなことが
ありました

秋にはおいしい新米を届けられるように

「つや姫」「雪若丸」田植えイベント(令和6年5月16日 新庄市)

本県のブランド米「つや姫」「雪若丸」をPRするため、吉村知事と東北農林専門職大学および同附属農林大学の学生が、田植えを行いました。吉村知事は、「秋には、山形のおいしい『つや姫』、『雪若丸』、そして『はえぬぎ』を全国にお届けできるように願って、心を込めて田植えをしましょう」とあいさつしました。学生たちは、田んぼのぬかるみに足を取られながらも、みんなで「つや姫」と「雪若丸」の苗を一株ずつ丁寧に手で植えました。



山形、東北、そして日本をけん引する農林業人材を育成

東北農林専門職大学開学式および入学式(令和6年4月8日 新庄市)

優れた技術と経営力、国際競争力を身に付け、農林業のリーダーとなる人材を育成する東北農林専門職大学が開学しました。開学式および入学式には、農業経営学科・森林業経営学科に入学する学生43名が参加し、吉村知事は「皆さんには、日本の農林業の未来を切り開いてほしい」と期待を述べました。新入生代表の工藤遼祐さんは「農林業の課題を乗り越え、元気な産業に発展させるために力を尽くしたい」と抱負を語りました。



県施設が自然由来の電力へ切り替え

県庁舎などへのCO₂フリー電力導入(令和6年4月1日)

カーボンニュートラル社会の実現に向けて、県では、県庁や県警察本部庁舎などで使用する電力を自然由来の再生可能エネルギー100%の電力に切り替えました。この電力は、県内の水力・太陽光・風力発電などで生み出され、発電時に二酸化炭素を排出しないCO₂フリー電力です。使用開始日の4月1日には、電力を供給する株式会社やまがた新電力の清野伸昭代表取締役から吉村知事に「やまがたCO₂フリー電力供給証明書」が贈られました。



知(事)コラム

山形の暑い夏を 元気に乗り切りましょう!!

今年も暑い山形の夏がやってきます。昨年は記録的な酷暑となり、県内での熱中症による救急搬送者数が過去最多となりました。そのため、子どもたちが安全・安心に夏を過ごせるようにと、各学校にスポーツクーラーなどの整備を行いました。県民の皆さんのためには、クーリングシェルターの周知のほか、さまざまな熱中症対策にしっかりと取り組んでまいります。また、身体の中から暑さを和らげるのにうってつけなのが、本県自慢の夏の食です。

『ラーメン県そば王国』が誇る冷やしラーメンや冷たい肉そば、全国的に有名なスイカやだちや豆、各家庭で入れる具材にひと工夫ある夏野菜を刻んだ「だし」など、夏でも食欲が出る食べ物がたくさんあります。夏バテに負けないよう、おいしく食べて健やかに元気で過ごしていただきたいと思えます。

そして、県内には、ちょっと涼を求めて、出かけるのにちょうどいい山が身近にたくさんあります。

『やまがた百名山』には、手軽なハイキングから、本格的な登山まで、いろいろな楽しみ方ができる山が各地にあります。木々に囲まれ、涼しい空気の中で深呼吸してみるのもおススメです。豊かな自然の中でクールダウンしてみてくださいね。



山形県知事 吉村美奈子